きらら浜自然観察公園「葦の会」機関紙 No.136

2025年 秋号



目 次

公園の風景

| ・今年の一番乗り | | • | • | • | • | 1 |
|----------------------------|---|---|---|---|---|---|
| 短足コゲラちゃん | | • | • | • | • | 1 |
| 日本の秋といえば | | • | • | • | • | 1 |
| ・エネルギア自然観察会 | | | • | • | • | 1 |
| ぐるっと山口湾④ | • | • | • | • | • | 2 |
| みんなのひろば | | | | | | |
| 葉っぱの小旅行in山口 | | | | • | • | 2 |
| 活動紹介 | | | | | | |
| | | | | | | |

• ふれあいまつりに向けて

がんばってるよ~!! ・ ・3

子供たちに特別な1日を・・3

・.「夏・子」無事終わる ・・・3

公園の汽水池で休むアオアシシギの群れ

発 行:「葦の会」機関紙チーム

事務局: 〒754-1277 山口市阿知須 10509-53

きらら浜自然観察公園内

電話 0836-66-2030 (FAX 66-2031)

mail ashinokai.kiirara@gmail.com

HP https://ashinokai.cloudfree.jp

「葦の会」はきらら浜自然観察公園で活動するボランティア グループです。自然を楽しみながら、その素晴らしさをご一緒

に学び伝えていきませんか?

会員募集中! (高校生以上)

公園の風景

= 今年の一番乗り=

まだ秋とは呼べない暑さの中でも立秋を過ぎたあたりから、アオアシシギ、 ソリハシシギ、イソシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、キアシシギな ど様々なシギの仲間が次々に公園に集まり始めました。一番乗りは、早くも



足長さんです

7月に淡水池にやって来ていた、写真のアオアシシギ(公園ホームページより)です。

アオアシシギは主に旅鳥で、春と秋の渡りの時期に日本にやって来てこの公園にも立ち寄ります。 ピョー、ピョーと、誰かが口笛を吹いているような声で鳴きながら飛びます。キアシシギの足がその 名の通り黄色いのと違い、アオアシシギの足は青くはなく灰色がかった青緑色。クチバシの先が少し 上にそっているのも特徴です。いよいよ野鳥観察シーズン到来!シギを観察する時はクチバシの形に も注目してみて下さい。

= 短足コゲラちゃん =



ギィーギィーという鳥の鳴き声を聴いたことありませんか?その声の主はキ ツツキの中では一番小さい「コゲラ」。 全長は15cm くらいで、スズメと同 じくらいの大きさです。背中が灰褐色と白のシマシマまだら模様で、木と同化 して見つけにくいかもしれません。先日、公園でせっかく見つけたのに、ササ

ッと木の上の方へ登って行き隠れてしまいました。木の幹を上手に登れるのは短い足としっかり しがみつける鋭い爪を持っているからです。鳴き声以外の手がかりは、虫を探すため木をくちば しでコンコンコンと突くドラミング。音と声でコゲラを探してみては? 見つけるとうれしくな る、とっても可愛い小鳥さんですよ。

= 日本の秋といえば =



名月に似合うススキですが、イネ科の植物で尾花(オバナ)や振袖草 (フリソデグサ) ともいい、秋の七草のひとつでもあります。 初秋になる と茎の先端に赤っぽい花穂を付けますが、種子に生える白い毛が穂全体を 白っぽく見せます。公園のヨシ原を囲む土手にはヨシに同化するようにス

スキが生えていますが、誰もがその存在に気付くのはこの頃です。中秋の名月頃に出た花穂は晩秋の 頃には熟し、種子は風によって飛んでいきます。葉は黄色や赤色の草紅葉になります。かつては、か やぶき屋根の材料や家畜の餌となり、人の生活には欠かせなかったススキ。今では日本の秋を語るに ふさわしい植物であり、これからも日本人の美意識をくすぐる存在であり続けて欲しいものです。

= エネルギア自然観察会 =

8月3日(日)、今年で5回目となる中国電力さんに よる自然観察会が当公園で行われました。長靴に入っ





た水の音と感触を楽しみながら干潟の生き物に触れたり、罠を引いては魚やカニにドキドキしたり。 それらを同定して自然に戻した後、中電さん提供のお弁当でお昼。午後からは恒例の工作でソーラー カーを仕上げピロティーに設えたプラレールで試走。子供達には最高の夏休みになったのではないで しょうか。葦の会スタッフも揃いのTシャツで参加しました。

ぐるっと山口湾 +4

山口湾を

ラムサール登録へ



ラムサール条約の言う「湿地」とは水のある場所全て、すなわち 海の干潟も入ります。山口湾は干潮時、350ha もの広大な干潟が 広がり、豊かな生態系を保っています。野鳥がシベリアなどから日 本列島を縦断し東南アジアへ渡るルートと、中国、朝鮮を経て日本 へ渡るルートの交差点であり、2億年前から姿が変わらないと言わ れる絶滅危惧種のカブトガニの国内有数の繁殖地でもあります。







クロツラヘラサギも少し ずつ渡ってきています



秋穂・長浜から見る山口湾の干潟

みんなのひろば♡

葉っぱの小旅行 in 山口

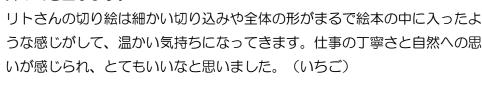
代表作 葉っぱのアクアリウム



先日、小6の孫と一緒にときわ公園ときわミュージアムで開かれた「リト@葉っぱの切り絵展~葉っぱの小旅行 in 山口」に行って来ました。リトさんが独学で制作を始め、SNS に毎日アップしている葉っぱの切り絵は国内外で注目を集めています。

まず葉っぱに水性マーカーで下絵を描き、デザインカッターで切っていきます。何しろ小さいので葉っぱの方を動かしながらの細かい作業が大変でした。

できあがった切り絵は青空をバックにして写真を撮ります。1枚の小さな葉っぱでひとつの世界ができ上ります。



マゴとばーちゃんの作品はこちら!



活動紹介

= ふれあいまついに向けてがんばってるよ~!! =



ショートプログラムチームでは、秋のふれあい祭りに向けて新作の紙芝居、「チョウトンボのダンス大会」を制作中です。Oさんが一から物

語を作り下絵も担当。他のメンバーはクレヨンや絵の具で色付けをしていきます。何十年ぶりかで童心に返り、楽しく作業しています。チョウトンボと赤ガエルの茜さんの楽しいお話です。皆さん是非見に来てくださいね **『今年のふれあいまつりは 10 月 26 日 (日) です!**

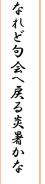
<俳句教室 最多選句>

= 子ども達に特別な一日を =

野鳥やまぐちが積水ハウスのマッチングプログラムに応募して企画が採用された「夏休み、学童保育に通う子供達に特別な一日を」の2年目。当自然観察公園と積水ハウスの山口工場を活動の場として、7~8月にかけて全8回、総参加者320名の子ども達と付き添いの先生を招いて行われました。公園からバスで行く積水ハウスの展示場では地震体験もあり、子供たちは大はしゃぎしながらも有意義な体験をしました。園内での魚釣りは大好評!しかしながら、大半の生徒さんは釣り針に餌を付けるのは苦手らしく、葦の会の会員はその作業の請負人として人気者でした。お昼ご飯にカレーを作るなど、昨年に引き続き企業による素晴らしい取り組みのお手伝いが出来たことは、葦の会にとっても嬉しいことでした。

=「夏・子」無事終わる =

夏休みが始まったばかりの7月21日(海の日)、7時より「夏休み子ども早朝観察会」が開催されました。付き添い者も入れて45名の参加者は朝から気温がぐんぐん上がる中、汗だくでトンボやバッタを追いかけ、溶けそうになったアイスで涼をとっていました。



銀

屋

根

・雨止んで霧立ち昇る故山かな 信子・帰省せり吐き出す駅の昇降機 貞代・母衆を分けて残暑のストレッチャー 恵子

7月

腸

8月







<編集後記>

9月に入ったというのに暑くてウンザリですね!!この暑さですが、良い事が。私は蚊に一度も刺されていません。ラッキー **♪**蚊も暑すぎると夏バテするんですってね! 27℃前後で活発になるらしいので、これから刺されてしまうかな?刺されないように気を付けよ~っと。

(5h5h)